

第 0 6 - 1 3 6 号
2 0 0 6 年 1 0 月 2 0 日

軽量型の新コンテナの導入！

~本邦初、ケブラー^R素材コンテナの導入~

ANAは、軽量型コンテナを200台導入し、2006年冬ダイヤから使用します。今回導入する軽量型コンテナは、底盤および骨格をのぞく外壁部分をケブラー^R素材に、開閉部分をキャンバス素材にそれぞれ変更することにより、従来のコンテナと比較して28キログラムの軽量化を実現しました。

当初は東京(成田)=サンフランシスコ線を中心に、主に欧米路線にて使用します。東京(成田)=サンフランシスコ線の使用機材であるボーイング777-300型機のコンテナ搭載可能台数は44台であり、1機あたり最大では1,232キログラムの軽量化()が可能となります。また、メンテナンスコストも従来型と比較して半減できる見込みです。

来年度以降、順次軽量型コンテナへの更新を進め、燃料消費の抑制、CO₂排出量の削減に引き続き努めてまいります。

この場合、東京 サンフランシスコ線片道で約495リットル(ドラム缶 約2.5本分)の燃料削減、ならびに約1,220キログラムのCO₂排出量削減が図れます。

軽量型コンテナの概要

	軽量型コンテナ	従来型コンテナ
素材	ケブラー ^R : 70% キャンバス: 5% アルミニウム: 25%	アルミニウム: 100%
コンテナ自重	71キログラム	99キログラム



ケブラー^Rは米国デュポン社の登録証憑です

以上